

# 國學院大學學術情報リポジトリ

## 経済小説におけるビジネス日本語会話にあらわれる 謙譲語について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-02-26 キーワード (Ja): ビジネス日本語, ビジネス日本語会話, 敬語, 謙譲語, 経済小説 キーワード (En): 作成者: 譚, 新珂 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.57529/0002000099">https://doi.org/10.57529/0002000099</a>

# 経済小説におけるビジネス日本語会話にあらわれる謙譲語について

譚新珂

【キーワード】 ビジネス日本語 ビジネス日本語会話 敬語 謙譲語 経済小説

## 1. はじめに

筆者は、経済小説を資料として、ビジネス会話における謙譲語の使用を観察した。その結果、ビジネス会話にあらわれる謙譲語は、筆者の別論文（譚（2023））で調査したビジネス文書にあらわれる謙譲語と比較して、あらわれる語に違いが見られたり、同じ語があらわれる場合でも使用頻度に違いが見られたりすることが明らかになった。本稿では、以下、このことを明らかにする。ビジネス会話における謙譲語の観察を主とし、必要に応じてビジネス文書における謙譲語<sup>1</sup>との相違について触れる。

今回の研究対象として取り上げるのは以下の小説の中の会話文である。

- ① 池井戸潤『オレたちバブル入行組』（2003『別冊文藝春秋』連載、2007 文春文庫）
- ② 池井戸潤『オレたち花のバブル組』（2006『別冊文藝春秋』連載、2010 文春文庫）
- ③ 安藤祐介『営業零課接待班』（2008 講談社単行本、2012 講談社文庫）

今回取り上げる作品の主人公は銀行員、会社員であり、いわゆるビジネスパーソンの設定である。更に、物語自体についても、ビジネス場面の描写シーンが多く存在し、ビジネス日本語会話シーンが多く登場する。

## 2. 全体の使用状況について

今回取り上げる3資料の会話文における謙譲語の出現総数は438例である。そのうち、謙譲語Ⅰの出現数は343例であり、謙譲語Ⅱの出現数は86例である。また、謙譲語Ⅰ兼謙譲語Ⅱ<sup>2</sup>の出現数は9例である。3資料のいずれについても、謙譲語Ⅰが謙譲語Ⅱより多く使用されており、謙譲語Ⅰ兼謙譲語Ⅱの用例は非常に少ない。詳細を以下の表1に示す。

<sup>1</sup>譚(2023)でビジネス文書における謙譲語の調査に用いた資料は次の通りである。：①志田唯史(2003)『最新決定版！CD-ROM付きビジネス文書基本文例230』オーエス出版 ②西出ひろ子(2020)『イラストでまるわかり！入社1年目ビジネス文書の教科書』プレジデント社

<sup>2</sup>具体的には「お(ご)……いたす」。文化審議会(2007)は、「お(ご)……いたす」について、この語は「お(ご)……する」(謙譲語Ⅰ)の性質と「いたす」(謙譲語Ⅱ)の性質とを、形態的にも機能的にも合わせ持つとして、「謙譲語Ⅰ兼謙譲語Ⅱ」であるとしている。菊地(1997)にも同様の見方が示されている。

表1 各資料における謙譲語の出現状況

作品名	謙譲語Ⅰ		謙譲語Ⅱ		謙譲語 Ⅰ兼Ⅱ	合計
	特定形	一般形	特定形	一般形		
『オレたちバブル入行組』	30例	49例	3例	18例	2例	102例
『オレたち花のバブル組』	41例	103例	7例	16例	0例	167例
『営業零課接待班』	32例	88例	10例	32例	7例	169例
合計	103例	240例	20例	66例	9例	438例

上表で「特定形」とは、「訪ねる⇒伺う」「言う⇒申し上げる」「もらう⇒頂く」などのように、特定の語形によるものである。それに対して、「一般形」とは、「お(ご)…する」「お(ご)…申し上げる」「お(ご)…いたす」などのように、多数の語が適用される一般的な語形である。

謙譲語の各形式の用例数及び使用場面について、次のページの表2に示す。全体的に、謙譲語Ⅰの使用頻度は謙譲語Ⅱの使用頻度より高い傾向があると言える。譚(2023)のビジネス日本語文書を対象とした研究で抽出した謙譲語と比べると、文書においては、謙譲語Ⅰ特定形「存じ上げる」「差し上げる」、謙譲語Ⅰ一般形「お(ご)…申し上げる」の用例が多数出現しているが、会話においては、この3形式の用例数は非常に少ない。また、謙譲語Ⅰ一般形「お(ご)…申し上げる」については、謙譲の度合いが高いため、本来であれば、対外的場面における用例は多数存在すると予想されるが、今回の考察において僅か3例しか確認できず、しかも3例とも対内的場面で使用されている。

謙譲語Ⅱ一般形「…いたす」の用例数も僅か18例しか存在せず、割合では、文書より少ないという傾向が見られる。謙譲語Ⅱ「存じる」と「いたす」は、文書において、社外文書と社内文書(いわゆる対外的場面と対内的場面)の両方から用例を確認できたが、今回の会話を対象とする考察では、対内的場面における用例だけが確認される。

また、出現形式の種類については、会話の方が文書より少ない。例えば、謙譲語Ⅰ特定形である「お目にかかる」「お目にかける」「御覧に入れる」などの形式については、今回の考察において用例を確認できず、会話場面における使用が避けられている可能性があると思われる。

会話と文書とで出現頻度に大きな差が見られた主な形式については、表3に示す。

表 2 謙讓語の各形式の用例数及び使用場面

謙讓語Ⅰ 特定形			
形式	対外的場面	対内的場面	合計
伺う	22 例	5 例	27 例
申し上げる	17 例	11 例	28 例
存じ上げる	1 例	なし	1 例
差し上げる	なし	1 例	1 例
いただく	21 例	14 例	35 例
頂戴する	3 例	2 例	5 例
承知する	3 例	2 例	5 例
拝借	1 例	なし	1 例
謙讓語Ⅰ 一般形			
形式	対外的場面	対内的場面	合計
お(ご)……する	66 例	61 例	127 例
お(ご)……申し上げる	なし	3 例	3 例
お(ご)……いただく	7 例	6 例	13 例
……ていただく	42 例	22 例	64 例
……いただく	1 例	なし	1 例
……(さ)せていただく	26 例	6 例	32 例
謙讓語Ⅱ 特定形			
形式	対外的場面	対内的場面	合計
おる	なし	1 例	1 例
申す	7 例	6 例	13 例
参る	2 例	1 例	3 例
存じる	なし	2 例	2 例
いたす	なし	1 例	1 例
謙讓語Ⅱ 一般形			
形式	対外的場面	対内的場面	合計
……いたす	10 例	8 例	18 例
……ておる	26 例	18 例	44 例
……て参る	3 例	1 例	4 例
謙讓語Ⅰ 兼謙讓語Ⅱ			
形式	対外的場面	対内的場面	合計
お(ご)……いたす	5 例	4 例	9 例

表3 会話と文書とで出現頻度に大きな差が見られた主な形式

形式	会話における出現数	文書における出現数
謙譲語 I 特定形グループ		
存じ上げる	1 例	34 例
差し上げる	1 例	24 例
拝～する	1 例	54 例
謙譲語 I 一般形グループ		
お(ご)…申し上げる	3 例	849 例
謙譲語 II 一般形		
…いたす	9 例	199 例

### 3. 各資料における謙譲語の使用状況について

#### 3.1 『オレたちバブル入行組』における謙譲語の使用状況について

『オレたちバブル入行組』の会話文における謙譲語は合計 102 例である。そのうち、謙譲語 I は 79 例(約 78%)、謙譲語 II は 21 例(約 20%)、謙譲語 I 兼謙譲語 II (お(ご)……いたす)は 2 例(約 2%)である。

謙譲語 I 79 例のうち、30 例は特定形であるのに対して、残りの 49 例は一般形である。出現形式と出現状況を下記の表 4 に示す。使用総数ではなく形式の種類(異なり)を見ると、特定形は 7 形式、一般形は 4 形式使用されている。「差し上げる」「承知する」以外の形式はいずれも、対外的場面の用例のほうが対内的場面の用例より多く存在する。

表 4 『オレたちバブル入行組』における謙譲語 I の使用状況

特定形		一般形	
伺う	11 例(対外 9、対内 2)	お(ご)……する	21 例(対外 20、対内 1)
申し上げる	8 例(対外 6、対内 2)	……ていただく	14 例(対外 14、対内 0)
存じ上げる	1 例(対外 1、対内 0)	お(ご)……いただく	6 例(対外 4、対内 2)
差し上げる	1 例(対外 0、対内 1)	……(さ)せていただく	8 例(対外 8、対内 0)
いただく(頂く)	6 例(対外 6、対内 0)		
頂戴する	2 例(対外 2、対内 0)		
承知する	1 例(対外 0、対内 1)		
合計	30 例	合計	49 例

謙譲語 II の用例数は合計 21 例である。そのうち、18 例は一般形であり、ほかの 3 例は特定形である。形式の種類(異なり)を見ると、特定形は 1 形式、一般形は 3 形式が使用されてい

る。なお、本資料において、謙譲語Ⅱ特定形「おる」「参る」「存じる」「いたす」の用例は見られない。また、全体的に、謙譲語Ⅱの用例数はかなり少ない傾向が認められる。詳細は表5に示す。

表5 『オレたちバブル入組』における謙譲語Ⅱの使用状況

特定形		一般形	
申す	3例(対外1、対内2)	……いたす	5例(対外5、対内0)
		……ておる	12例(対外8、対内4)
		……て参る	1例(対外1、対内0)
合計	3例		18例

なお、謙譲語Ⅰ兼謙譲語Ⅱの出現数は2例であり、2例とも対外的な場面で使用されているものである。

### 3.2 『オレたち花のバブル組』における謙譲語の使用状況について

『オレたち花のバブル組』の会話文における謙譲語は合計167例である。このうち、謙譲語Ⅰは144例(約86%)であり、謙譲語Ⅱは23例(約14%)である。謙譲語Ⅰ兼謙譲語Ⅱについては、本資料において、用例が見られない。

謙譲語Ⅰ144例のうち、41例が特定形であるのに対して、他の103例は一般形である。形式の種類(異なり)としては、特定形は6形式、一般形は5形式が使用されている。「存じ上げる」「差し上げる」「お目に掛かる」「お目に掛ける」「お(ご)……申し上げる」などの形式は本資料において用例が存在しない。

出現形式と出現状況を下記の表6に示す。

表6 『オレたち花のバブル組』における謙譲語Ⅰの使用状況

特定形		一般形	
伺う	11例(対外8、対内3)	お(ご)……する	56例(対外36、対内20)
申し上げる	16例(対外11、対内5)	……ていただく	30例(対外20、対内10)
いただく(頂く)	8例(対外6、対内2)	お(ご)……いただく	4例(対外3、対内1)
頂戴する	1例(対外1、対内0)	……(さ)せていただく	12例(対外9、対内3)
承知する	4例(対外2、対内2)	……いただく	1例(対外1、対内0)
拝借	1例(対外1、対内0)		
合計	41例	合計	103例

謙譲語Ⅱ23例のうち、7例は特定形であり、ほかの16例は一般形である。形式の種類(異なり)としては、特定形は4形式、一般形は3形式が使用されている。特定形の「いたす」は、本資料においては使用されていない。出現形式と出現状況を表7に示す。

表7 『オレたち花のバブル組』における謙譲語Ⅱの使用状況

特定形		一般形	
おる	1例(対外0、対内1)	……いたす	2例(対外2、対内0)
申す	2例(対外2、対内0)	……ておる	12例(対外7、対内5)
参る	2例(対外2、対内0)	……て参る	2例(対外2、対内0)
存じる	2例(対外0、対内2)		
合計	7例		16例

なお、本資料において、謙譲語Ⅰ兼謙譲語Ⅱ「お(ご)……いたす」の使用は見られない。

### 3.3 『営業零課接待班』における謙譲語の使用状況について

『営業零課接待班』の会話文における謙譲語は合計 169 例である。そのうち、謙譲語Ⅰは 120 例(約 71%)、謙譲語Ⅱは 42 例(約 25%)、謙譲語Ⅰ兼謙譲語Ⅱ(お(ご)……いたす)は 7 例(約 4%)である。

謙譲語Ⅰ 120 例のうち、32 例が特定形であるのに対して、残りの 88 例は一般形である。出現形式と出現状況を下記の表 8 に示す。

表8 『営業零課接待班』における謙譲語Ⅰの使用状況

特定形		一般形	
伺う	5例(対外5、対内0)	お(ご)……する	50例(対外10、対内40)
申し上げる	4例(対外0、対内4)	お(ご)……申しあげる	3例(対外0、対内3)
いただく(頂く)	21例(対外9、対内12)	……ていただく	20例(対外8、対内12)
頂戴する	2例(対外0、対内2)	お(ご)……いただく	3例(対外0、対内3)
		……(さ)せていただく	12例(対外9、対内3)
合計	32例	合計	88例

形式の種類(異なり)としては、特定形は4形式、一般形は5形式が使用されている。また、本資料では「存じ上げる」「差し上げる」「お目に掛かる」「お目に掛ける」「承知する」「お(ご)……申し上げる」などの形式については、用例が見られない。

謙譲語Ⅱの用例数は合計42例である。そのうち、10例は特定形であり、残り32例は一般形である。形式の種類(異なり)としては、特定形は3形式、一般形は3形式が使用されている。なお、今回の調査では、「おる」「存じる」の用例が見られなかった。全体的に見れば、謙譲語Ⅱの用例数は謙譲語Ⅰより少ない。詳細を表9に示す。

表9 『営業零課接待班』における謙譲語Ⅱの使用状況

特定形		一般形	
申す	8例(対外4、対内4)	……いたす	11例(対外3、対内8)
参る	1例(対外0、対内1)	……ておる	20例(対外11、対内9)
いたす	1例(対外0、対内1)	……て参る	1例(対外0、対内1)
合計	10例		32例

なお、『営業零課接待班』における謙譲語Ⅰ兼謙譲語Ⅱの用例数は7例であり、そのうち3例は対外的場面で使用されているのに対して、4例は対内的場面で使用されているものである。

本資料での使用状況としては、対内的場面で使用されている用例が対外的場面で使用されている用例より多く存在することが特徴である。更に、謙譲語Ⅰ特定形「申し上げる」や、謙譲語Ⅰ一般形「お(ご)……申し上げる」「お(ご)……いただく」などの形式について、本来であれば、謙譲の度合いが高いため、対外的場面において多く使用されるのが一般的であると思われるところであるが、本資料においては、対外的場面における用例は存在せず、対内的場面で使用されている用例のみが確認された。

もっとも、本資料の会話場面は、対内的場面を描写するシーンが対外的場面を描写するシーンよりも多く存在するため、このような結果になった可能性も考えられる。

#### 4. ビジネス日本語会話における謙譲語についての考察

##### 4.1 ビジネス日本語会話における謙譲語Ⅰ特定形について

ビジネス日本語会話における謙譲語Ⅰ特定形の全体的な使用傾向として、「拝見」「拝受」「拝察」「拝読」「拝承」「拝聴」「お目に掛かる」「参上する」などの表現は、今回の調査では用例が見られない。また、会話における「存じ上げる」の用例が少ない理由として考えられるのは、まず、「思う」意の「存じ上げる」は(書き言葉でも少ないが)会話ではほとんど使用されないことがあげられる。「知る」の意の「存じ上げております」のほうは、会話でも使用される表現であるが、使用場面はかなり限られていると見られ(初対面などの場面などが代表的であろう)、今回現れなかったのは、そういう場面がなかったためであろう。

##### 4.2 ビジネス日本語会話における謙譲語Ⅰ一般形について

今回の調査で、会話で最も多く使用されている謙譲語Ⅰ一般形は「お(ご)……する」である。「お(ご)……する」71例のうち、最も多く使用されている形式は「お願いする」であり、文書と同じ使用傾向を示している。

例文の一部を以下に示す。まず、「お願いする」以外の例を示す。

1. ご報告したはずですが…。

(『オレたちバブル入行組』48頁－半沢→浅野－対内的場面)

2. ご案内しておりますので。私、河口と申します。

(『オレたちバブル入行組』126頁－河口→半沢－対外的場面)

3. そこは想像にお任せします。だけどそれでもまだマシですよ。私なんか、ほとんど仇敵扱いだ。

(『オレたち花のバブル組』96頁－板東→半沢－対外的場面)

4. 信用調査をしたかという意味でしたら、もちろんです。お渡しした資料にも添付されています。

(『オレたち花のバブル組』151頁－半沢→黒崎－対外的場面)

5. 当社としては別の場所で新たな可能性を追求されることを強くお勧めします。

(『営業零課接待班』13頁－町森→真島－対内的場面)

6. お預かりしていたこれは、あなたにお返しします。

(『営業零課接待班』40頁－井岡→真島－対内的場面)

以下は「お願いする」の例である。

7. 石沢さん、一言ご挨拶をお願いします。

(『営業零課接待班』68頁－町森→井岡－対内的場面)

8. それなんですけどねえ。お願いしますよ。

(『オレたち花のバブル組』188頁－神田→近藤－対外的場面)

9. では、そういうことで。よろしくお願いします。

(『営業零課接待班』248頁－井岡→参会者－対内的場面)

10. ひとつ手短かにお願いしますよ、半沢さん。

(『オレたちバブル入行組』49頁－波野→半沢－対外的場面)

11. じゃあ、最初にあなたの頭の中に入っているという経営計画を文字と数字に落としてもらえませんか。明日までにお願いします。

12. お願いされても手加減はしないからね。

(『オレたちバブル入行組』177頁－小木曾→半沢－対内的場面)

13. 松尾は明日にでも霧島証券へ連絡して講師の件をお願いしてみてください。

(『営業零課接待班』271頁－黒田→郷原－対内的場面)

初めの3例(例7～例9)のように謙譲語性が感じられる例も見られるが、その次の2例(例10～例11)のように、謙譲の度合いが低いと思われる場面で使用されている例文も見られる。これらの例は、謙譲の意思が喪失しつつある可能性を示唆している。特に例10では、会話文の後の地の文に「敵意のこもった返事がある。」という描写があり、謙譲の意思は完全に存在しないと判断できると考えられる。また、12は相手から自分への依頼を「お願いする」と述べ

たもの、13は相手から第三者への依頼を「お願いする」と述べたもので、ともに謙譲の意は含まれず、単に依頼の意をあらわしているだけである。

また、「お(ご)……申し上げる」は僅か3例しか見られず、3例とも『営業零課接待班』における用例であり、すべて対内的場面で使用されているが、この作品は題名からも察せられるように企業の「営業」「接待」をやや誇張して描く作品であるために使用されているとも考えられる。例文を以下に示す。

14. それでは真島さん、何卒前向きにご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

(『営業零課接待班』13頁－町森→真島－対内的場面)

15. 私はとくに下心もなく三顧の礼、いや、十顧の礼で以ってお願い申し上げていたつもりだったのです。

(『営業零課接待班』38頁－真島→井岡－対内的場面)

16. まずはこれまでお世話になった社内全ての皆様に心より御礼申し上げます。

(『営業零課接待班』351頁－井岡→全員－対内的場面)

『オレたちバブル入行組』では、対内的場面で使用される謙譲語Ⅰ一般形「お(ご)……する」が僅かに1例見られるだけである。この例文は銀行内部の人の間での会話であるが、謙譲意識の対象は会話の相手ではなく、向かう先の人物である。例文を以下に示す。

17. は、はい。どうぞ。おい、半沢君。三階の会議室にご案内して。

(『オレたちバブル入行組』130頁－浅野→半沢－対内的場面)

これは支店長の浅野による主人公の半沢に対することばであるが、「ご案内する」の謙譲対象は主人公の半沢ではなく、国税庁から来た査察の統括官であることが分かる。

『営業零課接待班』における「お(ご)……する」の用例は、50例のうち40例が対内的場面で使用されている。このような偏りが生じる理由として、『営業零課接待班』は対内的場面の会話シーンが対外的場面より圧倒的に多いことが挙げられる。『オレたちバブル入行組』、『オレたち花のバブル組』にも対内的場面の会話シーンが存在するが、他部門とのやり取りや、上司との論争などのシーンがメインであるのに対して、『営業零課接待班』の場合、ほとんどは同じ部門の同僚の間の会話であるため、使用傾向上の偏りが生じたと考えられる。つまり、同じ「対内」でも、作品によって謙譲語の使用傾向も異なる可能性があると考えられる。

また、「～(さ)せていただく」は、謙譲の度合いが非常に高い形式であり、ビジネス日本語場面ではよく使用されている謙譲語である。菊地(2010)は、「～(さ)せていただく」の本来用法について、「相手から許可・恩恵を受ける意味であること」と述べている。今回の調査では、数多くの用例を確認できる。例文の一部を以下に示す。

18. あの、改めて確認させていただいてよろしいでしょうか。

(『営業零課接待班』－215頁－郷原→井岡－対内的場面)

19. ハソコンの管理システムについて、真島から概要をご説明させていただきます。

(『営業零課接待班』－101頁－黒田→下馬－対外的場面)

20. 当行で検討させていただきませんかでしょうか。

(『オレたちバブル入行組』 -32 頁-半沢→東田-対外的場面)

しかし、「～(さ)せていただく」の用例には、「恩恵をいただく」或いは「許可を請う」の意味が含まれず、「自己主張」や「宣言」などの意味で使用されているものも存在する。例文を以下に示す。

21. 一応、本件については銀行に戻りまして対応を検討させていただくことになります。

(『オレたちバブル入行組』 -54 頁-半沢→波野-対外的場面)

22. あなた銀行員でしょう。とりあえず、この売上予測の内容をじっくり検討させていただきますよ。結論云々なんて話はそれから！

(『オレたち花のバブル組』 頁 29-古里→近藤-対外的場面)

例 21 については、後文に「半沢は、厳しい言葉を突きつけた。「その際、場合によっては資金を返していただくこともありますから、そのつもりでいてください。」というような描写があり、相手から「恩恵をいただく」、または「相手の許可を請う」などの意が含まれず、単にこれからの行動を相手に「通告」するために「～(さ)せていただく」を使用していると見られる。また、例 22 は、東京中央銀行から取引先の中堅電機メーカーへ出向した近藤が、東京中央銀行京橋支店融資課課長代理である古里に融資の依頼をし、古里が近藤に難癖を付けるときの会話場面である。「恩恵をいただく」、または「相手の許可を請う」などの意は含まれないと考えられる。

譚(2019)では、このような「～(さ)せていただく」について、「「恩恵を受ける/許可を請う」の意味が薄く、あるいは「恩恵を受ける/許可を請う」という相手を特定できない。また、話し手が自分の立場を低くして、ある行為(或いはこれからの行為)を相手に伝える場合の用法。」と指摘しており、「……(さ)せていただく」の「拡張用法」として分類している。

### 4.3 ビジネス日本語会話における謙譲語Ⅱについて

謙譲語Ⅱについて、最も多く現れる形式が「……ておる」である点は、ビジネス日本語文書における使用傾向と一致しているが、全体的に言えば、謙譲語Ⅱの用例数は少ない。金(2020)では、国会会議録を対象にして、丁重語の使用実態について考察し、結果として、「特に「いたす」と「おる」は発言の該当箇所が非常に多く、他よりも頻用される丁重語だと言える」と述べている。また、金(2020)は「「おる」は、(27)存在を表す本動詞としての場合と、(28)「～ておる」という形の補助動詞として用いられる場合があるが、国会会議録の検査結果には、補助動詞としての使用が圧倒的に多い」と述べている。本研究の調査結果でも、「……ておる」の用例数は「おる」より多く見られており、ビジネス日本語会話の場面でも、同じような使用傾向が存在していることを証明したと言える。

しかし、今回の考察では、「おる」「……ておる」の用例が多く見られたものの、「いたす」の用例は僅か1例しか存在していない。また、「いたす」の他に、「存じる」の用例もほぼ存在しない。

## 5. まとめ

今回考察した経済小説は3冊のみであるが、文書における使用状況とは異なる傾向が認められる。例えば、譚(2023)で調査した謙譲語Ⅰ特定形「申し上げる」の用例数は非常に少ないが(両資料合計6例)、今回調査した会話では、二番目に多く(28例)使用されている。一方、謙譲語Ⅰ一般形「お(ご)……申し上げる」は、文書では非常に多く使用されており、社外文書と社交文書(いわゆる対外的場面)で多く使用されている形式であるが、今回の会話を対象とする調査においては、僅か3例しか存在せず、しかも3例とも対内的場面で使用されている。

謙譲語Ⅰ特定形「拝見する」「拝受する」「拝察する」「拝読する」「拝承する」「拝聴する」「お目に掛かる」「参上する」などの表現は、今回の調査で用例が見られなかった。譚(2023)の調査では、ビジネス日本語文書においては上記の謙譲語の用例は存在している。この違いから、会話に現れる形式が文書より少ない傾向が存在する可能性があると言えよう。また、本稿における調査では、謙譲語Ⅰ一般形のうち「お(ご)……する」が最も多く使用されている形式であるが、譚(2023)の研究では、文書における謙譲語Ⅰ一般形について、「お(ご)……申し上げる」は半数以上を占めており、最も多く現れる謙譲語Ⅰ一般形である。「お(ご)……する」よりかなり多く存在することが分かる。しかし、会話では、異なる使用傾向が示されている。

資料別に見ると、やはり資料による使用上の差が見られる。例えば、『オレたちバブル入行組』における「お(ご)……する」の用例数は、対外的場面20例・対内的場面1例であり、かなりの偏りが存在する。それに対して、『営業零課接待班』における「お(ご)……する」の用例数は、対外的場面10例・対内的場面40例であり、『オレたちバブル入行組』と全く逆の特徴が示されている。また、『オレたち花のバブル組』における「お(ご)……する」の用例数は対外的場面36例・対内的場面20例であり、他の2資料と比べて、中間的な位置にあると言える。これに関して、文書の場合、資料に関わらず、いずれも対外的場面の用例が多いと言う結果が見られる。

また、文書における謙譲語Ⅰ特定形「差し上げる」については、実際に物のやり取りで使用される用例は多いとは言えず、「お電話」「メール」「お手紙」「ご連絡」などの「連絡行為」に関する語と共起しやすい傾向が見られる。今回の調査で現れる「差し上げる」の用例も、「お電話」との共起が認められるが、あまりにもサンプル数が少ないため(1例)、用例を増やして考察する必要がある。「お目に掛かる」「お目に掛ける」については、文書と会話ともに調査資料には見られず、この2形式の謙譲語は、現代のビジネス日本語場面ではあまり使用されないのではないかと推測されるが、作者や調査資料数の制約による可能性もあると思われる。

謙譲語Ⅱについては、金(2020)の国会会議録を対象として取り上げた研究では、「いたす」が会議録で最も多く現れる形式であるとされているが、今回の調査においては、僅か1例しか見られず、使用傾向に相違が認められる。ビジネス日本語会話独自の使用傾向とも考えられようが、この点についても、可能性を指摘しておくにとどめたい。

今回の研究はビジネス日本語会話における謙譲語の使用実態を明らかにするため、ビジネス

日本語会話場面が多数現れる経済小説を取り上げた。現代日本語会話における謙譲語の使用は少ないとしばしば指摘されているように、今回の調査結果においても、確かに会話における謙譲語の出現数は文書における謙譲語の出現数より少ないという傾向は存在すると言える。しかし、ジャンルが多岐にわたる現代文学の中では、むしろビジネス会話を反映した経済小説だからこそ、これほどの謙譲語の用例が見られたと解することもできると考えられよう。今後の課題として、ビジネス会話場面以外の会話場面における謙譲語の使用実態との相違点を考察するために、経済小説以外のジャンルの作品を取り上げて考察して、比較する必要があると考えられる。

### 参考文献

- 菊地康人(1997)『敬語』講談社学術文庫
- 菊地康人(2010)『敬語再入門』講談社学術文庫
- 金美貞(2020)「国会会議録における丁寧語の使用実態」『日本語文学』90 日本語文学會(韓国)
- 譚新珂(2020)「ビジネス日本語会話における「～(さ)せていただく」について－経済小説を中心に－」『国学院大学日本語教育研究』11 国学院大学日本語教育研究会
- 譚新珂(2023)「ビジネス日本語文書における「謙譲表現」について－ビジネス日本語文書マニュアル本を中心に－」『國學院大學大学院文学研究科論集』50 国学院大学大学院文化審議会(2007)『敬語の指針』(答申) [https://www.bunka.go.jp/keigo\\_tousin.pdf](https://www.bunka.go.jp/keigo_tousin.pdf)

### 調査資料

- 安藤祐介(2010 初出)『営業零課接待班』(2012 文庫版)講談社文庫
- 池井戸潤(2003『別冊文藝春秋』初連載)『オレたちバブル入行組』(2007 文庫本)文春文庫
- 池井戸潤(2006『別冊文藝春秋』初連載)『オレたち花のバブル組』(2010 文庫版)文春文庫

—国学院大学大学院博士課程後期—